

精密減速機事業における中国生産拠点が 中国の建物環境評価基準制度（新基準）で日系企業初の最高ランク獲得

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小谷和朗）の精密減速機事業における中国生産拠点「納博特斯克(中国)精密机器有限公司」が、環境に配慮した建築物への認証制度「綠色建築設計標識」の最上級の三つ星を取得しました。

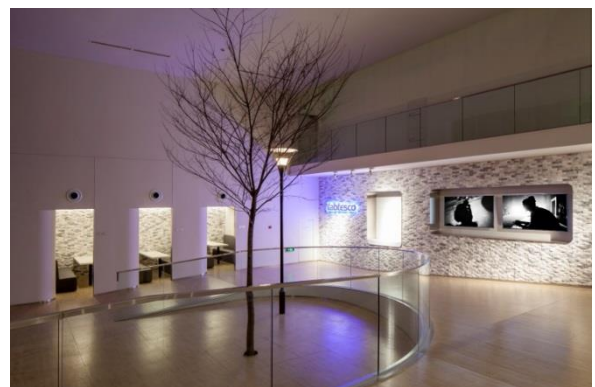
当社は、産業用ロボットの関節用途向けの精密減速機において世界シェア約60%を有しており、特に急拡大が見込まれる中国市場への機動的な製品供給と生産拠点の分散を図るべく、2016年1月より中国での操業を開始しています。

「綠色建築設計標識」は、2006年より施工された中国の建設省が認証する建物の環境評価基準制度で、日本の建築環境総合性能評価システム(CASBEE)に該当する評価指標です。2016年より新基準が施行され、これまでの評価項目に加え重み係数による評価が加わり、より正確な評価が可能となっています。2016年より施行された新基準における日系企業のプロジェクトとしては、初の最高級ランク取得となります。本認証取得に至り、省エネルギー型設備の利用、自然環境を有効利用した設計、将来への拡張性が特に評価されました。

当社は、付加価値の高い製品の提供により、社会・経済の発展に貢献することを企業の責任として認識し、高効率と環境負荷低減を両立する生産を推進してまいります。



外光を積極的に採り入れる正面外観



外光が差し込み自然石が採用された
開放的なエントランスホール

以上